留学生インターンシップ in GIFU 成果報告書

【留学生:岐阜大学 工学研究科 電子システム学専攻 氏名:Ngo Quang Thin(ゴー クーアン ティーン)】

【受入れ企業:株式会社東海パウデックス】

【インターン実施期間:2016年08月29日~09月02日】



株式会社東海パウデックス

- 設立 1960年6月1日 資本金 4000万

- 従業員数 50名
- 売上高 20億円

■海外拠点

VINA TOKAI POWDEX Co. Ltd(ベトナム)

■ 事業内容

粉体に関わる製造機械の設計から製造・施工までの トータル・システム・プラントエンジニアリング

■技術紹介

- •素材開発 社内に粉体研究所を設置。 粉体の分析・調査
- ・プラントエンジニアリング 製造機械の設計・製造 現場での据え付け、テストラン、メンテナンス

◆製品事例









● 留学生インターンシップ in GIFUに参画した理由

- 将来の留学生採用に向けた参考にするため
- 社会貢献・地域貢献の一環として
- 留学生に自社を知ってもらうため
- 今後の留学生インターンシップ受け入れの為の試行的な意味で

【具体的には】

外国人留学生に対する岐阜県の新たな取り組みに対し、 地場企業としてその趣旨に賛同し、社会貢献の一環として参画した。 そして留学生が日本で就職するにあたって、 何を望んでいるのか?や、母国でどのような仕事をしたいのか?等、 留学生の意識・意向がどのあたりにあるのかについて 参考としたいため。

インターンシップ実習計画

- ■実習期間 平成28年 8月 29日~ 9月 2日の間の 5日間
- ■土日祝の就業体験 なし
- ■実習時間 午前9時 ~ 午後5時(休憩12:00 ~12:45、15:00~15:15)
- ■実習する業務 見積収集・発注業務(ケーススタディ)等
- ■実習プログラム

日程	業務の内容
1日目	弊社企業概要の説明と社内見学 経営者との面談 実習部署の紹介、就業スケジュールの説明、Auto CADの操作方法
2日目	プラント設計の基礎 Auto CADによる作図練習 振り返りシートの作成
3日目	プラント設計の基礎 Auto CADによる作図練習 振り返りシートの作成
4日目	安全教育 在庫管理と製造作業実習 就業体験を振り返りまとめる
5日目	社会人としての心構え 成果報告会向け資料の作成 まとめ

将来の就職のために、 社風、社会人のワークスタイルを知るため。

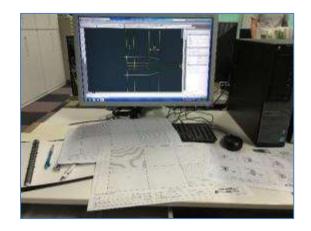
コミュニケーションカや理論性等をより高めたい。





インターンシップの流れや会社の規則、マナーについて説明を受けました。また、社長さまからは将来についての貴重なアドバイスもしていただきました。





Auto CADの基本的な操作方法を 社員の方から、ていねいに教えてもらいました。



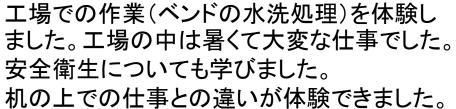




工場内を見学しました。

粉の種類によって送り方や、送るための風の 強さが違うなど、いろんな工夫があることを 知りました。 Auto CADの図面練習1が完成しました。 図面練習2からは難易度が上がり、難しく なりましたが、社員さんにじっくり教えても らいながら進めました。

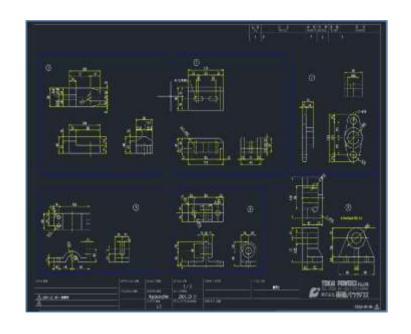






Auto CADの作図練習2を再開しました。 昨日より設計の基礎がわかり、 ひとりでできる作業が増えました。





午前中の就業体験で、練習2が一旦終わりました。 午後になり、社員の方に作図したものをチェックしてもらい、 ミスを指摘していただきました。 図面の書き直しは丁寧に行う必要があり、集中力が必要です。 大変な作業もありましたが、完成したときには達成感がありました。











インターンシップの最後の日、就業体験を振り返り、レポート作成。 社員の方に相談しながら、成果報告会向けの資料を作りました。

インターンシップでは大変貴重な体験をさせていただき、 様々な事を経験し、学ぶことができました。

未熟で何も分からない私に温かく指導して下さり、感謝しています。



1.トータルな技術力

2.新しいフィールド

3.経営を間近で見ることができる



(株)東海パウデックスを海外(自分の母国)にPRすると





東海パウデックス

粉体は、「第4の物性」と呼ばれます。 粉体というものは美しいものである。 東海パウデックスは 粉体のトータル・システム・エンジニアリングを 目指して専門知識と技術の蓄積・開発に 努めてきました。 経営の分野の美しさを伝えています。

現代は、まさにボーダーレスの時代。国家、人種、そして業種業態など、 あらゆる面で旧来の枠組みを超えた活動が常識となっています。そして、 日々進化する技術情報もまた、衛星から発信される電波のようにリア ルタイムで手に入るようになりました。領域を超え、概念を超越した技術こ そが、人間の知力と経験に基づいて形成された世界共通の言語とい えるのです。

私たちは、創業以来、食品の粉体技術をベースとし、そこからあらゆる 粉体のトータル・システム・エンジニアリングを目指して専門知識と技術 の蓄積・開発に努めてまいりました。しかし、この粉体は、「第4の物性」と 呼ばれ、解析が非常に困難なこともあり学問的にも60年程度という浅 い歴史の分野なのです。私たちは、粉体技術のスペシャリスト企業とし て、この未開拓分野に挑むパイオニアでありたいと考えます。そのために、 一層の国際感覚を深め、アグレッシブな頭脳集団としての進化を目指し ています。

留学生インターンシップ in GIFUに参加してみて

- ・知りたいと思っていた、日本企業の社風、社員の雰囲気などを 感じ取ることができました。 社員の方と関わる中で、どうコミュニケーションをとるべきかを知ることもできました。 また、「仕事をすること」「働くこと」の大変さを知るいい機会となりました。
- ・社会人と学生の違いも分かってきました。 社会人は自己管理、健康管理などの基本的な管理も行わないといけません。 さらに与えられた仕事を、与えられたレベルで行うことが求められます。 仕事が大変でも、"楽しむ思考"や"やりがい""生きがい"を見つけることの 大切さが分かりました。
- 日本で就職をすると考えた時、今回のインターンシップのおかげで、 自分のさまざまな欠点が見つかりました。
 もっと日本語の能力を高める必要があると感じましたし、コミュニケーション能力も必要だと思いますので、これから改善しなければならないと、気づきました。
 このインターンシップ経験を、これからの就職活動に活かしていきたいと思います。



- ・弊社にインターンとして来たゴー・クーアン・ティーンさんは非常にスキルの高い方で、 日本語の能力が高く、コミュニケーションに苦労することはなかった。 企業側からの説明や作業に対する課題の付与・指示に対し、 高いレベル、かつ真摯な姿勢で取り組み、与えられた仕事を遂行することができていた。
- ・今回のこの「留学生インターンシップ in GIFU」という取り組みは 大変意義のあることですので、弊社としては大いに賛同する。 特に県内の海外進出企業や今後海外進出を検討している企業にとっては、 県内大学に留学している優秀なグローバル人材を得る貴重な機会だと思う。 インターンシップが直接就職に結び付けばベストであるが、 たとえ結び付かなくても、留学生と企業の双方にとって有意義なものと考えている。
- 留学生の意識・意向を知る上で、大いに参考となった。企業側としても受け入れ態勢が十分ではなく、反省することが多々あったので、 反省点を今後に活かしたいと思っている。